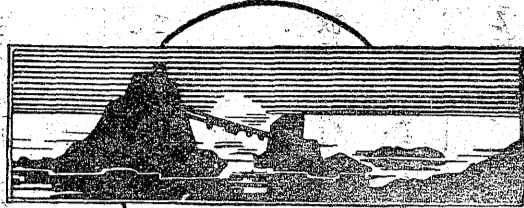


いはき新報

発行日 五日、十五、廿五(三回)
 福島縣石城郡平市長郷町四七
 発行所 いはき新報社
 編輯兼發行人 高木喬
 印刷 人 高木喬
 本紙定價 一月十錢 三月廿錢
 廣告料 場所指定 十錢



正登

年頭に際して

國民精神總動員を叫ぶ

今次の支那事變は、皇國の安危に關する重大事件であります、その勃發以來、忠勇義烈なる皇軍は善謀善戰、しきりに偉大なる戰績を收めつゝあることはまことに感激感謝に堪へざるころであります

國民精神總動員は、この國民の覺悟を固めるための全國民の運動であります、我等は國體の本義を惟神の大道とに即して

堅忍 忠報 一國 致
 盡心 持久 國致

の三目標を國民日常生活の實踐に具現せしむることによつて、國民精神總動員の目的を達成することに努力を傾注し、以て東洋の和平、民族共榮の皇護を翼賛し奉らんことを期して春頭の辭を致します

昭和十三年元旦

いはき新報社

高木喬

恭賀新年

(順列不同)

元代議士

安島重三郎

小田吉治

千葉彦治

内郷村消防組頭

佐藤三平

平市會議員

松本徳一

平市會議員

大谷武雄

鈴木正男

(鈴木耳鼻咽喉科醫院)

平市三丁目

なかや洋服店

電話二〇三番

元縣會議員

鷺清昇

湯本町會議員

渡邊長作

電話四〇番

城北炭礦平營業所

渡邊嘉章

田坂嘉章

四家又一

内郷村 電話四番

磐城炭礦株式會社

所長 菅原萬次郎

古河石炭礦業株式會社

好間礦業所

入山採炭株式會社

坑務所

磐城水産工業株式會社

支配人 福尾伊太郎

片倉磐城製絲株式會社

石城郡町村長會

石城郡内各學校長會

平製氷株式會社

專務 松本一郎

東京株式取引所一般短期實物取引員
大福永田福一商店

富岡事務所

佐川傳之助

平市四丁目 (平局前) 電話二五八番

銘酒販賣

扇屋酒店

店主 水竹伊之助
紺屋町電話一六五

貸切乗合

野崎自動車部

昭和タクシー
電話三四三番

小名濱町

久保田醫院

西村屋藥局

平市 電話三番

大平藥店

電話六四二番

關内藥局

電話四〇番

衛生第一

岡田牛乳舍

平市鎌田町
電話五一番

平市新川町

川崎印刷所

電話二八六番

採炭奉國の

城北礦業の好成績

東洋工業界の偉人西村勝三翁
息渡邊茂社長力量手腕は
常磐炭礦界に雄飛するに至た

世界的軍需の影響と這般で豊富で其土炭質は無煙の支那事變に依り重要産業炭で火持長く臭氣煙煙の恐部門たる工業界は異常なる

然らば 全國的に叫ばれてゐる石炭飢饉は如何にして緩和するかに至りては種々論議せられてゐるが今後

平市大町に平營業所を置く城北礦業會社は渡邊茂社長を初め鋭敏の士を集め採炭奉國の旗幟を鮮明にし該代人である。宜なる哉社員

の濃厚な性情にひそむ陰徳の偉業に至る間幾多の艱難に遭遇、よくこれを撃破し

の温厚な性情にひそむ陰徳の偉業に至る間幾多の艱難に遭遇、よくこれを撃破し

明治二年の秋たまたま、時の兵部大輔大村益次郎と快談、軍制を改訂して國民皆兵の制をとり完全なる現代訓練を施さんとの意見を

赤井の二ヶ所に設置する赤井礦業を設置する等日本赤井礦業を設立した翁は天保七年十二月九日江戸丸の内内佐野藩邸内に生れ今日

赤井の二ヶ所に設置する赤井礦業を設置する等日本赤井礦業を設立した翁は天保七年十二月九日江戸丸の内内佐野藩邸内に生れ今日

赤井の二ヶ所に設置する赤井礦業を設置する等日本赤井礦業を設立した翁は天保七年十二月九日江戸丸の内内佐野藩邸内に生れ今日

と言ふのでせう
兎に角偉い人と云ふ感に
うたれました」云々
(以下次號)

小川村長

柴崎佐之吉

外吏員一同

福島市
福島郵便局長

小川竹松

高木保

長瀬壽雄

酒井伴城

平市三丁目

友部連株式店

電話一七七番

平市長
青沼鋒太郎

恭賀新年
廣部炭礦々業所
所長 菊地徳太郎
自宅 平市田町 電話二二二番

川内村役場員一同
村長 渡邊博之
助役 河原武之

豊間村消防組頭
遠藤惣三郎
外幹部一同

富國徴兵保險相互會社
遠藤義雄
本社 東京麹町區内幸國富國ビル
支社 福島、郡山、若松、平、仙台

野村生命保險株式會社
主事 福島健之
長橋町 電話四七番

磐城建物株式會社
ツルヤ洋品店
四丁目 電話一四〇番

平市十五丁目
平病院
醫學博士 鈴木 定藏
電話六四一

御料理
末廣亭
田町 電話四二二

鍛冶町
草野央
電話八八番

豊間
江・間
同一合組屋理料

小名濱 先驅者
 開發の先驅者
 小野晋平氏の功勞に

早くも小名濱全町民
 小野氏後援會組織の聲

縣會議員、小名濱町長である小野晋平氏の席温まる邊なく東奔西走の飛躍を續けた結果小名濱商港實現の機運が熟するに至つたことは獨り小名濱ばかりでなく本郡の發展期して待つ可きものがある。

殊に平、小鐵道が完成し商港が實現するに至らば平市の進展も亦異狀なものあるに違ひない。小名濱町が斯くまでに發展する域に進むに至つた道程には並ならぬ犠牲と努力がある。この犠牲と努力を一身に引き受けて今日迄邁進した恩人こそ忘れてはならぬ。その恩人こそ小野晋平氏その人である。

小野氏は小名濱開發の爲めには常に寢食を忘れ、精神的にも、物質的にも偉大な犠牲を拂つて來た小名濱開發の先驅者であつた。

小名濱町民は商港完成、平、小鐵道實現後には小野氏の効績を永遠にたゞへる爲め何等かの方法に依つて顯彰する必要がある。

更に小名濱全町民は小野晋平君後援會を組織し同氏が出馬の意志なくも衆議院改選ある時こそ代議士として當選を期せねばなるまい

清水屋漁業部

大塚 器具靴店
 電話七七番

佐々木健一郎
 電話三六一番

阿部 崇順
 大浦村

階上ホ一ル階上
 中央會館
 (隣西館平)
 レストラン

謹賀新年
 (順列不同)

貴族院議員

成通

前衆議院議員

鈴木三郎

縣會議員

小野晋平

元縣會議員 植田町長

古川 健一

植田物産株式會社

専務

山崎 冬

縣會議員

蓮沼菊輔

賀

磐城礦業株式會社

社長 中村 孝

正

好間礦業所

從業員一同

土木建築請負

中山組
 中山吉之助
 植田町 電話五五番

福好工業合資會社

強口 唯七郎
 平市 電話二八二番

石城土木建築請負業組合一同

祝 戰勝

日東商會

祈武運長久

長嶋菊苗
 平市二丁目
 電話四二八番

祝 戰勝

高久病院
 高久 忠
 佐竹 菊雄

釜屋商店
 諸橋久太郎
 諸橋元三郎

藤沼平次郎

松村鐵郎

關内藥局

西村屋藥局

謹賀新年

祈武運長久

世界館
 館主 鈴木寅次郎
 支配人 石井 孝
 平驛通 電話四四六番

白水炭礦會

壽炭礦々業所

五十嵐炭礦 不動礦業所

杉山炭礦 々業所

浪花炭礦 礦業所

神奈川炭礦 礦業所

高階炭礦 礦業所

謹賀新年

(順序不同)

大河内整形醫院 大河内一郎	鈴木眼科醫院 鈴木亮	星眼科醫院 星恒明	松村性病科醫院 松村鐵郎	大和田醫院 大和田郡司	酒井醫院 酒井國三郎	金成醫院 金成忠義	藤沼醫院 藤沼平治郎	吉田醫院 吉田久雄	白土外科醫院 白土德彌	志賀小兒科醫院 志賀政光	根本醫院 根本莊次郎	增田醫院 南町 電話四八二	平製作所 堂の前 電話四一	平電氣鑄鋼所 電話二六	山田文一商店 仲町 電話二六二	山田麻袋商店 公園下 電話一九二	平運輸株式會社								
平市議員	西洋料理組合	吉村安次郎	溫泉旅館組合	無盡株式會社 湯本信用 電話四六	平庶民金庫 有限信用組合 責任	廣瀨支店 田町 電話五四	玩具店 いづみや 平驛前	佐藤材木店 電話三三五	平藝妓組合	明治生命保險株式會社代理店 大屋根本商店 電話一三番	金山崎合名會社 本店二七番 營業部一〇番	武藏鐵工所 遠山稻吉 電話五一四番	佐藤巖 電話三八一	鈴木片濱自動車部 主 鈴木善太郎 電話二一七番	阿部石炭部 電話二三七番	木澤常松 合資會社 (古鍛冶町區長) 平砲銃 火藥店	中野齒科醫院 平市田町 電話五〇九番	堀江工業株式會社 電話五一九番	日本曹達株式會社 小田礦業所						
平料理屋組合	遠藤パン店 電話一〇七	ウシク子供店 電話三八七	大日本電力 平營業所	小野常治商店 電話一四四	各毛糸一般 ハシモトヤ 糸店 平市田町	三井吳服店 平市三丁目 電話三八番	草野染工場 印半天專業 平市鎌田町	横山商店 洋品足袋ゴム靴 電話九四	平驛前	豐間信用販賣組合 組合長 志賀重右衛門 事務主任 銀木清	カフエー ススリン 植田町 電話五六	石城郡銀行組合	泉屋 金牌受領いづみ最中 平五 電話六六八	堀藥局 番處方調劑醫療器械 藥劑士 堀功 平二丁目 電話三二六	伊勢屋商店 漆器 家具 丸はん 平三丁目 電話三四五	會田時計店 平四丁目 電話三六三	平三業健組合	坂本紙店 喪中年賀欠禮 電話一八番	郡山無盡株式會社 平營業所 電話一〇	田邊商店 電機と機械 電話二九四	齋藤商店 足袋仕立物 メリヤス類 平一丁目 商號 丸屋	高岡屋 和洋菓子問屋 平市研町 電話四〇六	富士食堂 支那そばと壽し 電話四六八	酒類綠川酒店 販賣 電話四六八	平市聚樂館通り